

整理番号	MJ- 0204
作成	S51. 11. 05

パイロットリリーフ弁

取扱説明書

DT-01

DG-01

MJ-0204

油研工業株式会社

*該当するEIシートおよび構造図を添付のこと

1. 保 守

作動油の管理、フィルタの点検など、油圧装置全体に共通する注意事項のほか、日常下記事項を点検してください。

もし、異常が認められれば、「5. 故障の原因とその対策」の項をご参照のうえ処置してください。

- 1) 設定圧力が安定しているかどうか？
- 2) 異常騒音や振動はないか？
- 3) 外部への油洩れはないか？

2. 分 解

2.1 分解前の準備

1) 次のものをご用意ください。

- a. 清浄な洗い油（灯油または軽油）……部品洗浄用
- b. 装置の使用油と同一の清浄な作動油……部品潤滑油

2) 装置は運転を停止し、圧抜きを完全に行い、使用電源のスイッチを切っておいてください。

2.2 分解作業上の注意

構造図をご参照のうえ、順次分解してください。

その場合、下記事項にご注意ください。

- 1) 部品を絶対に傷つけないこと。
- 2) 部品を汚染させないこと。（部品を並べる面は清浄に）
- 3) 装置の開口部（弁取付面）にはカバーをかけ、異物の混入を防ぐこと。
- 4) 後刻、組立を正確に手際よく進めるために、部品はきちんと整理して並べること。

3. 検 査 ・ 修 理

表に示す検査の要点に沿って各部品を検査してください。

傷が小さい場合には、エメリーペーパーまたはラッピングにより入念に修正してください。再使用不能の場合は交換してください。

部品交換の際は、構造図に記載された名称、図番、個数を明記してご注文ください。

部 品 名 称	検 査 の 要 点
ポ ー テ ー	○ 通路などの異物の付着の有無を点検
ポ ベ ッ ト	○ シートの当り面の傷、摩耗の程度を点検
シ ー ト	○ ポベットの当り面の傷、摩耗の程度を点検 ○ 細穴の異物の付着の有無を点検
パ ネ	○ 変形または両端面の直角度を点検
オ リ ン グ	○ 弾力性の程度および永久変形や傷の有無を点検

4. 組 立

構造図をご参照のうえ、分解と逆の手順で組立ててください。

その場合下記事項にご注意ください。

- 1) 部品を清浄な洗い油で良く洗浄すること。
- 2) 洗浄した部品を清浄な作動油に浸すこと。
- 3) 部品を絶対に傷つけないこと。
- 4) 組立中に異物が混入しないようにすること。

MJ-0204

5. 故障の原因とその対策

故障	原因	対策
圧力が高すぎるかまたは低すぎる	圧力設定が適当でない	正しい圧力設定をやり直す
	ポベットの着座不良	シート面にゴミが不着していないか、小穴にゴミが詰まっているか、またポベットがシートに正しく着座しているか調べ、よく洗滌する
	圧力計が正常でない	圧力計および圧力計までの配管、弁などを調べる
	ポンプから油が出ていない	ポンプを点検し、処置する
圧力が不安定である	油中にエアが混入している	系統のエア抜きをする。なお、吸い込み管、ポンプのシャフト部、サクシヨンフィルタ部などからエアを吸っていないか調べ処置する
	油中にゴミが入っている	分解し、シート面にゴミが付着していないか調べ、よく洗滌する。油の汚染がひどい場合は、新油と交換する
	ポベットとシートの当り不良	シートおよびポベットの当り面に傷がついていないか調べ、3項により修正する
	ポンプの不良	ポンプを修理する
異常騒音または振動を発生する	タンク配管に背圧が発生している	背圧を低くするよう配管を変更する
時間遅れが大きい	油の粘度が高い	適正粘度の油に交換する。寒冷時の起動時に起こるような場合はヒータを入れるか予備運転を行なう
	エアが混入している	エア抜きをする
油がもれる	取付けボルトがゆるんでいる	ボルトを増締めする
	Oリングが損傷または老化している	Oリングを新品と交換する

MJ-0204